



学校法人 医療創生大学
千葉・柏リハビリテーション学院

2022年度
学校関係者評価

I. 学校関係者評価委員（敬称略・順不同）

・関 敏昭

医療法人社団創造会 平和台病院 リハビリテーション科統括課長

・土居 義典

千葉県作業療法士会 理事

・宮下 雅史

千葉・柏リハビリテーション学院 非常勤講師

・五十嵐 和人

医療法人社団葵会 千葉・柏リハビリテーション病院 事務長

Ⅲ. 評価項目と評価基準

1. 教育理念・目的・育人人材像等	
1-1	学校の理念・目的・目標は定められているか
1-2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
1-3	学校の理念・目的・育人人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
1-4	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
2. 学校運営	
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか
2-3	運営組織は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
2-6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
3. 教育活動	
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
3-2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
3-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか
4. 学習成果	
4-1	就職率の向上が図られているか
4-2	資格取得率の向上が図られているか
4-3	退学率の低減が図られているか

5. 学生支援	
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか
5-7	保護者と適切に連携しているか
5-8	卒業生への支援体制はあるか
5-9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか
6. 教育環境	
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
6-3	防災に対する体制は整備されているか
7. 学生募集と受入れ	
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
7-3	学納金は妥当なものとなっているか
8. 財務	
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
8-3	財務について会計監査が適正におこなわれているか
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか
9. 法令等の遵守	
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
9-4	自己評価結果を公開しているか
10. 社会貢献	
10-1	学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 0：未実施

IV. 評価結果

1. 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 学校の理念・目的・目標は定められているか

(2021) 評価：4／学校の理念・目的・目標を定めている。(教育要項参照)

(2022) 評価：4／学校の理念・目的・目標を定めている。(教育要項参照)

1-2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

(2021) 評価：4／社会的なニーズを踏まえて、主体的に考え実践できる学生の育成に努めた。

(2022) 評価：4／社会的なニーズを踏まえて、主体的に考え実践できる学生の育成に努めた。

1-3 学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか

(2021) 評価：4／教育要項への掲載や入学時のガイダンス等で学生および保護者に周知している。

(2022) 評価：4／教育要項への掲載や入学時のガイダンス等で学生および保護者に周知している。

1-4 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2021) 評価：4／学科ごとに教育目標を定め、理学療法士・作業療法士の育成に努めた。

(2022) 評価：4／学科ごとに教育目標を定め、理学療法士・作業療法士の育成に努めた。

課題と改善方策

(2021) 2020年度より変わりなく、教育理念を基に育成につとめた。今後も継続していく。

(2022) 継続して、育成に努めた。今後も継続していく。

2. 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか

(2021) 評価：4／目的に沿った運営方針を策定している。

(2022) 評価：4／目的に沿った運営方針を策定している。

2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

(2021) 評価：4／上記の運営方針に則った事業計画を策定している。

(2022) 評価：4／上記の運営方針に則った事業計画を策定している。

2-3 運営組織は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか

(2021) 評価：4／運営組織における規則の明確化はなされており、有効に機能している。

(2022) 評価：4／運営組織における規則の明確化はなされており、有効に機能している。

2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか

(2021) 評価：4／各規程の整備はされている。

(2022) 評価：4／各規程の整備はされている。

2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか

(2021) 評価：4／教務・財務等の組織は整備されている。

(2022) 評価：4／教務・財務等の組織は整備されている。

2-6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

(2021) 評価：4／学院専用の SNS にて適切に情報発信を行った。

(2022) 評価：4／学院 HP や専用の SNS を使用し、教育活動の情報公開に努めた

2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(2021) 評価：4／学籍管理、成績管理などをシステム管理している。

また教員間での業務の連携をネットワークサーバーにて可能とし、効率化を行っている。

(2022) 評価：4／学籍管理、成績管理などをシステム管理している。

また教員間での業務の連携をネットワークサーバーにて可能とし、効率化を行っている。

課題と改善方策

(2021) 2020 年度より更に SNS を利用した情報発信に注力した。

今後も同様に学院ホームページや SNS を利用し情報発信を実施していく。

(2022) 継続して学院 HP や SNS を利用した情報発信に注力しており、今後も継続していく予定である。

3. 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

(2021) 評価：4／教育理念に沿って主体的に考え実践できる学生の育成に努めている。

またその育成を3年間で完成できるようにカリキュラムを編成している。

(2022) 評価：4／教育理念に沿って主体的に考え実践できる学生の育成に努めている。

またその育成を3年間で完成できるようにカリキュラムを編成している。

3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

(2021) 評価：4／前年度より引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、多くの科目を対面式の授業に切り替えた。遠隔で継続した授業もあるが適切に学習時間を確保しており、かつ学生・保護者に対しても明確に提示している。

(2022) 評価：4／新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、すべての授業を対面式の授業へ切り替え、学習時間を確保した。また学生・保護者に対して入学時、進級時に提示している。

3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

(2021) 評価：4／学科ごとのカリキュラムを体系的に編成している。

(2022) 評価：4／学科ごとのカリキュラムを体系的に編成している。

3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

(2021) 評価：4／2020年度は多くの授業を遠隔授業にて実施してきたが、2021年度は感染対策を講じながら対面授業へと切り替えた。対面、遠隔と切り替えるごとに、科目担当者が再度授業計画を構築している。

(2022) 評価：4／すべての授業を対面授業にし、科目担当者の再編や、それに伴う授業計画の再構築を図った。

3-5 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか

(2021) 評価：4／職業教育を体系的に位置付けているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と同様に一部を学内演習に切り替えて実施した。ただし学内でもあっても職業教育として位置づけ、適切に運用している。

(2022) 評価：4／職業教育を体系的に位置付け、運用している。一部新型コロナウイルス感染症の影響により、学内演習を実施したが、職業教育と位置付けて適切に運用している。

3-6 授業評価の実施・評価体制はあるか

(2021) 評価：4/全ての科目に対して授業評価を実施している。

(2022) 評価：4/全ての科目に対して授業評価を実施している。

3-7 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

(2021) 評価：4/4名の評価員による学校関係者評価を継続している。

(2022) 評価：4/4名の評価員による学校関係者評価を継続している。

3-8 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

(2021) 評価：4/各基準は明確となっている。

(2022) 評価：4/各基準は明確となっている。

3-9 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

(2021) 評価：4/理学療法士作業療法士学校養成所指定規則などにに基づきカリキュラムを編成し、1年次より段階的に修学が行えるように指導体制を整えている。

(2022) 評価：4/理学療法士作業療法士学校養成所指定規則などにに基づきカリキュラムを編成し、1年次より段階的に修学が行えるように指導体制を整えている。

3-10 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

(2021) 評価：2/理学療法学科は要件を備えた教員を確保している。

作業療法学科については不足していたため、募集を継続してきた。

(2022) 評価：3/理学療法学科は要件を備えた教員を確保している。

作業療法学科においては教員数の確保はできたが、教育経験は少なく理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教育講習会などへの参加していく。

3-11 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか

(2021) 評価：4/学科ごとに臨床での実践経験の豊かな理学療法士・作業療法士を講師として教育を実施している。

(2022) 評価：4/学科ごとに臨床での実践経験の豊かな理学療法士・作業療法士を講師として教育を実施している。

3-12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか

(2021) 評価：4/理学療法学科より教員1名が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教育講習会へオンラインにて参加した。

(2022) 評価：4/理学療法学科・作業療法学科より各教員1名が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教育講習会へオンラインにて参加した。

3-13 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(2021) 評価：4/遠隔での実習指導者講習会参加など、研鑽を行った。

(2022) 評価：4/遠隔での実習指導者講習会参加など、研鑽を行った。

課題と改善方策

(2021)

一部、前年度と同様に遠隔授業で実施したが、大多数の科目に関しては対面授業にて実施した。遠隔授業は、学生の受講の習熟度が上がっていることもあり、大きな混乱は見られなかった。しかしながら社会的な混乱は多く残っており、外部施設との関係は今一度見直さなければならなかった。そのため一部、外部施設での実習は、学生の安全も考慮したため学内演習に切り替えて、学習時間の確保を行っている。作業療法学科の教員数においては、急ぎ補充できるよう確保に努めている。

(2022)

全ての講義を対面授業に切り替え実施したが、教育体制に大きく混乱はなく実施することができた。実習等の外部施設との関係においては一部学内演習を実施しなければならない点もあったが、学生、教員ともに学内演習の運用の習熟度も上がり、一定の水準を保つことができています。

教員数においては人数的な補充は確保できたが、経験の不足があり、教員研修などにより研鑽を積んでいく。

4. 学習成果

4-1 就職率の向上が図られているか

(2021) 評価：4／卒業生すべての就職を達成しており、また各学生の希望に応じた就職も達成できた。

(2022) 評価：4／卒業生すべての就職を達成しており、また各学生の希望に応じた就職も達成できた。

4-2 資格取得率の向上が図られているか

(2021) 評価：4／最終学年の学生すべての資格修得を目指し、
毎年の受験数・合格率・各学生の状況を正確に把握している。

(2022) 評価：4／最終学年の学生すべての資格修得を目指し、
毎年の受験数・合格率・各学生の状況を正確に把握している。

4-3 退学率の低減が図られているか

(2021) 評価：3／一定数の退学者が認められた。

(2022) 評価：3／一定数の退学者が認められた。

課題と改善方策

(2021)

退学者数を減らすための対策、具体的に面談数の増加や学生相談室への導入などを講じてきたが、一定数の退学者が認められた。傾向としてはモチベーションの低下が主で、次に学習についていけない、人間関係が構築できないことなどが挙げられた。対策を講じてきたが、退学を決めた学生の傾向として本年度は、担任や教員と話合うのではなく、まず自身で退学を決め、保護者と話し合ってから学院へ報告することが多く、面談しても意志が変わらない学生が多くみられた。

今後の対策として、より早い段階での介入（出欠席数やクラスメイトとの人間関係の把握）や入学前教育結果の活用、保護者との連携を密にし、減少への対策を図っていく。

(2022)

一定数、退学者が認められた。退学者の傾向としては1年次の進路変更を理由とする学生が多い。授業開始から徐々にモチベーションの低下が見られ、学習参加が滞っていき退学もしくは休学という流れである。学生相談室への促しや教員面談を繰り返していても、状況が変わる学生は少なく、低減させることは困難であった。今後は入学前からの意欲を図り、入学前から関りを持っていくよう対策を図っていく。

5. 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

(2021) 評価：4／求人票を閲覧できるコーナーは引き続き設置している。

また求人票を学内システムで配信し、いつでも確認できるようにした。

本年度は感染症対策を考慮しながら、外部施設の就職担当者来校型の就職相談会を実施した。

(2022) 評価：4／学生がすぐに求人票を閲覧できよう整備している。

また外部施設の就職担当者来校型の就職相談会を継続して実施した。

5-2 学生相談に関する体制は整備されているか

(2021) 評価：4／学生相談室を設置し、臨床心理士が学生のカウンセリングを実施している。

(2022) 評価：4／学生相談室を設置し、臨床心理士が学生のカウンセリングを実施している。

5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

(2021) 評価：4／奨学金支援制度を学生に紹介の上、手続き支援を実施している。

また担当職員が定期的に説明会を開催している。

(2022) 評価：4／奨学金支援制度を学生に紹介の上、手続き支援を実施している。

また担当職員が定期的に説明会を開催している。

5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

(2021) 評価：4／健康診断を実施の上、学生すべての結果を管理している。

また感染対策に対するガイドラインを定め、日々の体調管理を実施している。

(2022) 評価：4／健康診断を実施の上、学生すべての結果を管理している。

また感染対策に対するガイドラインを定め、日々の体調管理を実施している。

5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか

(2021) 評価：0／昨年度と引き続き、学生の安全確保のため全てのサークル活動はすべて中止した。

(2022) 評価：0／昨年度と引き続き、学生の安全確保のため全てのサークル活動はすべて中止した。

5-6 学生の生活環境への支援は行われているか

(2021) 評価：4／遠方からの入学者に対して学生寮の紹介を実施した。

また入居費用の補助を実施した。

(2022) 評価：4／遠方からの入学者に対して学生寮の紹介を実施した。

また入居費用の補助を実施した。

5-7 保護者と適切に連携しているか

(2021) 評価：4／入学時ガイダンスは時間を限定した形で実施した。学期途中などで実施している保護者会については新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、中止とした。学習面や出欠席に対しては担任からの電話連絡を密に行い、適切な連携がとれている。

(2022) 評価：4／入学時に保護者を呼びガイダンスを実施した。また任意の学生に対しては学習面の遅れや出欠席に関して担任から保護者へ連絡を行い、適切な連携がとれている。

5-8 卒業生への支援体制はあるか

(2021) 評価：3／新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、当日の学院利用は不可とし、事前連絡から利用数を把握するなど、卒業生の学院利用は一部制限した。

(2022) 評価：4／利用時の事前連絡は引き続き継続したが、卒業生の学院利用の制限を撤廃し、利用可能とした。

5-9 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

(2021) 評価：4／学習支援システムを導入しており、学生の教育環境を整備している。

(2022) 評価：4／学習支援システムを導入しており、学生の教育環境を整備している。

5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか

(2021) 評価：4／感染対策に講じながら、段階的に高校との連携を増やし、講演や説明会などを実施した。

(2022) 評価：4／新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、高校などとの連携が増え、説明会などを多数実施した。

課題と改善方策

(2021)

学生支援については感染対策を講じながら、段階的に通常の運営に戻っていった。しかしながらサークル活動などの一部外部との接触が多いものについては、自粛した。今後も社会の状況を把握しながら慎重に外部とのつながりを増やし、学生支援を実施していく。

(2022)

学生支援の整備は整っており、問題なく実施できている。しかしながらサークル活動などの外部との接触が多く、集団となりやすいものに関しては昨年度同様に自粛した。今後は社会情勢を鑑みながらサークル活動などを再開していく予定である。

6. 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

(2021) 評価：4／各講義室に TV モニターを導入して、授業に活用している。

(2022) 評価：4／教育上、必要となる施設・設備を整備している。

6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

(2021) 評価：3／学外の教育体制においては、前年度の学内実習から、受け入れ状況を考慮しながら徐々に増やしており、再度、十分な教育体制がとれるよう整備した。しかしながら未だ新型コロナウイルス感染症の状況は残存しており、日々変化しているため、状況に応じて、学生に不利益がないよう整備していく。

(2022) 評価：3／学外の教育体制において、徐々に新型コロナ以前の教育体制に戻りつつある。しかしながら、完全に戻ったとは言い切れず学内での演習に置き換えた場面もあった。今後は十分な教育体制を取り戻せるよう整備していく。

6-3 防災に対する体制は整備されているか

(2021) 評価：4／防災マニュアルを策定し、学生にも通達している。また年に一度の防災訓練を実施し、全学生が参加している。

(2022) 評価：4／全学生参加の防災訓練を実施、防災に対する体制を築いている。

課題と改善方策

(2021)

2020 年には新たに机・椅子を導入し、2021 年には講義室に TV モニターを導入するなど、計画的に教育環境を整えている。今後は当面の間、現在の教育環境の保全・維持に努める。

(2022)

学内における教育環境は整っていると見える。しかしながら学外の教育体制においては、コロナ以前に戻りつつあるものの完全とは言えなかった。しかしながら今後は十分な体制を取れるよう整備している。

7. 学生募集と受入れ

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか

(2021) 評価：4／学生募集は適正に行われており、2021年度の定員は充足した。
また学生募集要項を毎年更新し明確化している。

(2022) 評価：4／学生募集は適正に行われており、2022年度の定員は充足した。
また学生募集要項を毎年更新し明確化している。

7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

(2021) 評価：4／オープンキャンパスにおいて、国家試験合格率や就職率の状況を説明している。

(2022) 評価：4／オープンキャンパスにおいて、国家試験合格率や就職率の状況を説明している。

7-3 学納金は妥当なものとなっているか

(2021) 評価：4／学納金は社会状況を踏まえ適切に設定している。

(2022) 評価：4／学納金は社会状況を踏まえ適切に設定している。

課題と改善方策

(2021)

前年度同様、学生募集と受入れにおける各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

(2022)

前年度同様、学生募集と受入れにおける各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

8. 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

(2021) 評価：4／安定しているといえる。

(2022) 評価：4／安定しているといえる。

8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

(2021) 評価：4／十分に精査したうえで、予算書の作成を実施した。

(2022) 評価：4／十分に精査したうえで、予算書の作成を実施した。

8-3 財務について会計監査が適正におこなわれているか

(2021) 評価：4／会計士による監査を実施した。

(2022) 評価：4／会計士による監査を実施した。

8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(2021) 評価：4／ホームページにて情報を公開している。

(2022) 評価：4／ホームページにて情報を公開している。

課題と改善方策

(2021)

前年度同様、財務における各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

(2022)

前年度同様、財務における各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

9. 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

(2021) 評価：4／指定規則に則り、適切に運営している。

(2022) 評価：4／指定規則に則り、適切に運営している。

9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

(2021) 評価：4／個人情報の取り扱いに関する規程を設け、
必要な書類の完備および適切な保管を行っている。

(2022) 評価：4／個人情報の取り扱いに関する規程を設け、
必要な書類の完備および適切な保管を行っている。

9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

(2021) 評価：4／自己評価を実施し、問題点の洗い出しおよび改善を実施した。

(2022) 評価：4／自己評価を実施し、問題点の洗い出しおよび改善を実施した。

9-4 自己評価結果を公開しているか

(2021) 評価：4／公開を実施している。

(2022) 評価：4／公開を実施している。

課題と改善方策

(2021)

前年度同様、法令を遵守し学校運営を実施している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

(2022)

前年度同様、法令を遵守し学校運営を実施している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

10. 社会貢献

10-1 学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

(2021) 評価：0／依頼を受け実施予定ではあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により先方から延期の連絡を受け、年度内の実施には至らなかった。

(2022) 評価：4／理学療法士実習指導者講習会を開催し、当学院から配信し指導者の育成にあたった。

10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

(2021) 評価：0／新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているボランティア活動は全て中止した。

(2022) 評価：0／軽減したとはいえ、完全に新型コロナウイルス感染症が終息したとは言えず、ボランティア活動は全て中止している。

課題と改善方策

(2021)

感染対策に講じながら、段階的に社会貢献の場を増やしていけるよう計画している。しかしながら現在の社会情勢を考慮しながら慎重に進めていく。

(2022)

社会貢献として指導者講習会の開催を実施したが、新型コロナウイルスの影響が完全に終息したとは言えず、地域貢献に関しては実施できていない。次年度からは社会情勢を考慮しながら慎重に進めていきたい。